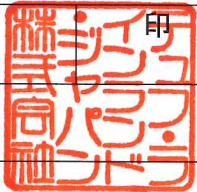


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成23年3月30日

## 妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>			
照明設備高効率化による CO2 排出量削減プロジェクト			
<b>GHG 妥当性確認機関</b>			
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。			
機関名	テュフ ラインランド ジャパン株式会社		
担当部署名	マネジメントシステム認証課		
責任者名	本多 学		
責任者 E-mail	manabu.honda@jpn.tuv.com		
責任者電話番号	045-470-1850		
審査員名 <sup>i</sup>	田幡 一郎		
機関要件への合致	方法論E010 の妥当性確認の検証機関である。		
妥当性確認報告書発行日	2011年 3 月 30 日		
<b>審査内容</b>			
適用妥当性確認・検証ガイドライン	適用妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 1.2		
妥当性確認期間	2011年 1 月 6 日～ 2011年 3 月 30 日		
現地審査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	期間	2011年 3 月 24 日～ 年 月 日
	審査内容	対象プロジェクト及び事業組織の概要把握 方法論の根拠資料の確認 プロジェクトの範囲、算定対象排出活動等の基本的事項、排出削減量、計画書での記載内容について、それぞれ計画に従って証拠を収集する。	

		2008	2009	2010	2011	2012
想定排出削減・吸収量	年度			9.9	38.0	33.0
	t-CO2					
プロジェクト情報 (A・B)	新江州パッケージ株式会社/日野事業所において Hf 蛍光灯を導入することにより、これまで使用していた水銀灯を代替し、電力消費量を削減し、CO2 排出量を削減する。					
適格性要件 (C)	既存の照明設備を更新するものであり、方法論 No. E010 による					
排出量・吸収量算定 (I・II)	照明設備の電力消費(年間稼働時間、瞬間使用電力)により排出量を測定する。					
モニタリング計画 (III～VI)	瞬間使用電力を測定するために、測定器の選定、使用方法の徹底を行う。					
その他(D)	特になし					
機関の見解 (サマリー・結論)	事業者が作成した計画は、運営規則及び審査・確認実施要領に基づいた審査の結果、全ての重要な点において適正であると認める。					
<b>パブリックコメントの概要</b>						
パブリックコメントの募集期間 2011年2月4日から2011年2月17日 コメント なし 妥当性確認機関の見解 該当なし						

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。